鉄道部の業務

◇快適で安全な鉄道・軌道交通の構築

誰もが暮らしやすく、安全な社会づくりを推進するため、鉄道駅の整備、低床式車両などのＬＲＴ（次世代型路面電車システム）の導入及び訪日外国人旅行者の増加に対し、Wi-Fi 機器や旅客案内設備の多言語化など、情報提供設備の整備を支援しています。また、鉄道・軌道のレールやマクラギの更新、信号保安設備など安全性向上のための施設整備を支援しています。

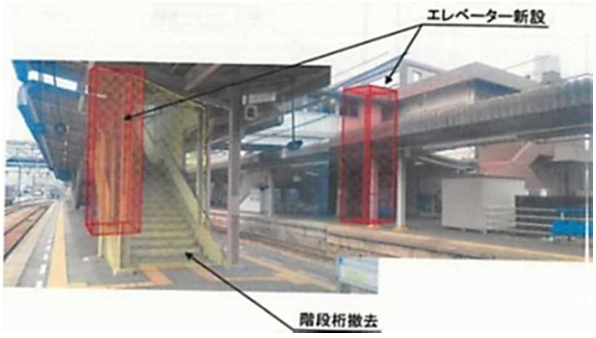
低床式車両（伊予鉄道）

駅構内サイン（４カ国語等）

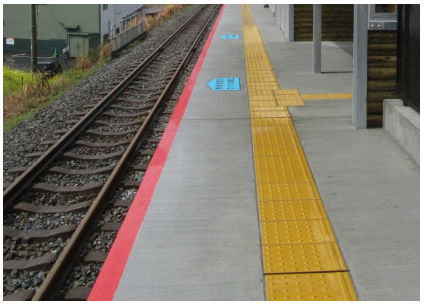
ＬＥＤ案内表示板（ＪＲ琴平駅）

◇鉄道駅のバリアフリー化の推進

高齢者や障害者などの要配慮者の避難・移動手段を確保するため、鉄道駅のバリアフリー化事業を支援しています。昨今、鉄道駅のホームからの転落事故、列車との接触事故が多発しており、ホームドア等、転落事故の防止効果の高い対策の必要性が高まっていることを踏まえ、内方線付き点状ブロックの整備等の転落防止対策事業を支援しています。



エレベーター



内方線付き点状ブロック

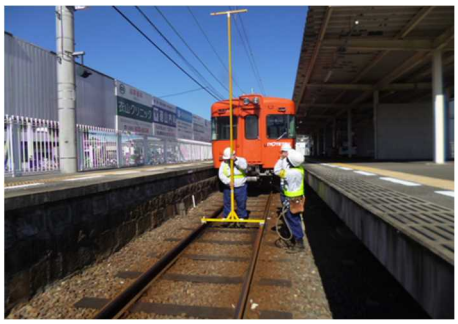
◇鉄道・軌道の利用促進

「鉄道の日（10月14日）」において、関係団体等が実施する鉄道・軌道写真展、鉄道・軌道施設見学会、サイクルトレインなどの行事を積極的に支援しています。

サイクルトレイン

◇鉄軌道事業者等への保安監査等

鉄道・軌道・索道の安全運行の確保、安全管理体制の向上を図るため、事業者に対する保安監査の強化・充実を図っています。計画的な保安監査に加え、春・秋の交通安全運動や年末年始総点検等、あらゆる機会を通じて、鉄道・軌道・索道事業者等へ立ち入り、適切な指導等を行っています。



事業者保安監査
（電車線高さ測定作業）

◇運転士の資質の向上及び輸送の安全確保

輸送の安全確保を図るため、鉄道・軌道の運転事故等に関する情報交換、事故等防止対策や運転に関する最新の知見等の習得、安全意識の高揚を目的とした「保安連絡会議・運転管理者会議」を開催しています。

運転士としての資質の向上や輸送の安全確保を図るため、動力車操縦者運転免許試験を厳正に実施しています。

列車添乗

◇鉄道施設・設備の維持に対する支援

輸送の安全を確保するため、信号保安設備、線路設備、車両設備等の更新事業を支援しています。

◇地方踏切道改良協議会等の開催

踏切道改良促進法に基づく「地方踏切道改良協議会」や「四国地区踏切道調整連絡会議」を開催し、踏切道改良計画の作成及び実施に関し必要な協議並びに鉄道と道路が相互に交差している箇所に係る諸問題について調整を行っています。

◇踏切事故防止キャンペーンの実施

鉄道運転事故の約半数は踏切事故であり、その原因のほとんどが直前横断等であることから、踏切道通行者に対し、安全意識の向上を図るため、毎年１１月１日から１０日間、広報活動を展開しています。

期間中は、踏切内で自動車が閉じ込められた場合の脱出訓練、非常押ボタンの操作や発炎筒の取扱い訓練を実施しています。

広報活動

◇異常時を想定した各種訓練の指導

各鉄道・軌道事業者に対し、踏切脱線事故や信号故障等、様々な事象を想定した復旧対応訓練や南海トラフ地震の発生を想定した、列車からの脱出及び指定避難場所への誘導訓練の定期的な実施を指導しています。

異常時復旧対応訓練

避難誘導訓練